



スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



contents

- ◎全国高等学校総合体育大会グラビア 2
- ◎事業計画・主要行事予定 3
- ◎チームAKITA 1,000点プラン 5
- ◎東北総体・全国高校総体等の結果 6
- ◎国体ピックアップ選手・チーム 8
- ◎国体結団式 10
- ◎医科学・ドーピング防止 11
- ◎中学生強化選手 12
- ◎期待のジュニアアスリート 14
- ◎日独スポーツ少年団同時交流事業
スポーツ少年大会兼ジュニア・リーダーズスクール 15

- ◎チャレンジデー2018あきた 16
- ◎総合型スポーツクラブ連絡協議会 17
- ◎トップアスリートと企業のマッチング 18
- ◎日・韓・中ジュニア交流競技会 21
- ◎県内スポーツの主なできごと 22
- ◎ゴルフコンペの開催
オリンピック・パラリンピック候補選手近況メッセージ
秋田ノーザンハピネッツからの寄付 23
- ◎賛助会員・寄付者 24
- ◎事務局だより 26

平成30年度 全国高等学校総合体育大会



フェンシング女子個人エペ
優勝・齋藤華南 (秋田商高)



レスリング男子個人 55kg級
3位・島谷侖 (右・秋田商高)



フェンシング女子個人フルーレ
優勝・土佐千乃 (聖霊高)



ボート女子舵手つきクワドルプル 4位・本荘高 (手前)



新体操女子団体 6位・御所野学院高



ボート女子シングルスカル
4位・茂内さくら (秋田高)



カヌー男子スプリント・カヤックペア
500m・8位・佐々木絵 (右) 阿部智礼 (本荘高)



カヌー男子スプリント・カヤックシングル
200m・6位・松川瑛 (本荘高)

(写真提供：秋田魁新報社)



平成30年度 県体育協会事業計画

【事業方針】

「スポーツ立県あきた」宣言の実現を目指し、国民体育大会（以下「国体」という。）や東京五輪をはじめとする国際大会等の大舞台上で活躍できる選手を育成・強化するほか、スポーツへの参加人口・機会の促進等を図るため、加盟競技団体、加盟地域団体、加盟学校体育団体（以下「加盟団体」という。）並びに県等の関係機関と連携・協力し各種事業を推進します。

特に、少子高齢化が急進している中、国体等での勝利を目指して頑張っている選手を支援するとともに、多くの県民が生涯にわたり健康で生き生きと暮らせるよう、スポーツ・運動機会の充実を図るため関係機関と一体となって取り組んでいきます。

1 県民体育大会の開催

第 69 回県民体育大会を、東北総合体育大会や国体の予選会として開催します。

2 競技力向上対策事業

「国体で天皇杯順位 10 位台（得点 1,000 点以上）」を達成するにあたり、毎年、天皇杯得点 950 点以上を確実に獲得できるよう「チーム A K I T A 1,000 点プラン」に掲げる強化対策事業を実施します。特に高校強化拠点校を中心とした少年種目の強化、社会人チームの強化対策、女子競技種目の選手強化、東北ブロックを勝ち抜くため各県戦力の調査・分析を実施します。

- (1) スポーツ医・科学の活用
 - ① アンチ・ドーピング教育・啓発事業、アンチ・ドーピング講習会
 - ② 選手、指導者等に対するスポーツ医・科学の情報提供
 - ③ スポーツ少年団指導者・保護者を対象にしたアンチ・ドーピング講習会
- (2) 東北ブロック大会・国民体育大会への派遣
 - 東北ブロック大会兼第 45 回東北総合体育大会（宮城県）[平成 30 年 8 月 24 日～ 26 日]
 - 第 73 回国民体育大会本大会（福井県）[平成 30 年 9 月 29 日～ 10 月 9 日]
 - 第 74 回国民体育大会冬季大会
 - [スケート競技 平成 31 年 1 月 30 日～ 2 月 3 日（釧路市）]
 - [アイスホッケー競技 平成 31 年 1 月 30 日～ 2 月 3 日（釧路市）]
 - [スキー競技 平成 31 年 2 月 14 日～ 17 日（札幌市）]
- (3) 秋田県高等学校強化拠点校制度等による選手育成・強化

国体や全国規模の大会で活躍できるジュニア選手を育成・強化します。

 - ① 秋田県高等学校強化拠点校への支援
 - ② 中学生強化選手の指定・研修
 - 中学生強化選手競技力向上研修（メディカルチェック、フィジカルトレーニング研修、宿泊研修等）
 - 中・高連携強化プロジェクト研修（選手・指導者）
- (4) トップアスリートの支援

オリンピック・パラリンピックを目指す選手を支援するほか、本県出身者等が県内に就職して安心して競技を続けられるように支援するなど、社会人スポーツ選手等の競技力向上を図ります。

 - ① オリンピック・パラリンピック候補選手の支援
 - ② アスリートの就職支援

3 スポーツの普及等に関する事業

- (1) 普及啓発・広報事業

機関誌「スポーツ秋田」の発行やホームページによる情報発信
- (2) スポーツ普及推進事業

加盟団体が実施するスポーツ事業への助成
- (3) スポーツ表彰・顕彰事業

本県の体育・スポーツの振興に寄与し、その功績が顕著な者に対し、その栄誉を顕彰
- (4) 人見スポーツ傷害基金事業

スポーツ選手の傷害防止の啓発



4 生涯スポーツの振興

広域スポーツセンター及び県総合型クラブ連絡協議会と連携し、総合型クラブの活動の充実と安定的な運営を支援します。

また、全市町村で開催される「チャレンジデー」に総合型クラブが主体的に参加するほか、障がい者と一緒に活動できるよう関係機関と連携します。

- (1) 総合型地域スポーツクラブ育成・自立支援事業
 - ① 総合型クラブの育成支援
 - ② 秋田県総合型クラブ連絡協議会事業
- (2) スポーツ指導者養成事業
 - ① スポーツ指導者養成講習会
 - ② スポーツ指導者研修会
- (3) スポーツ少年団交流大会
 - ① 競技別交流大会
 - ② 全県交流大会
 - ③ リーダー養成事業
 - ④ 日独同時交流事業
 - ⑤ スポーツ少年団モデル育成事業
- (4) スポーツ少年団指導者育成事業
 - ① 認定員養成講習会
 - ② 認定員等再研修会
 - ③ 育成母集団研修会
 - ④ スポーツ少年団顕彰事業
 - ⑤ スポーツ少年団広報普及事業

5 組織の運営・財政の確立

- (1) 組織の運営

事務局業務を効率的に執行するとともに、課や担当の分担にとらわれず相互協力体制で運営するほか、各専門委員会では学識経験者などの専門家の意見を広く取り入れ、事業の充実を図ります。
- (2) 財政の確立

安定した財政基盤による事業推進に向けて、関係機関・企業等に対し、本会の事業の重要性について理解を得る働きかけを行い寄付を募るほか、賛助会員制度や収益事業による自主財源の確保と、効率的な事業執行や経費の節減に努めます。

●平成 30 年度 県体育協会 今後の主要行事予定

行 事	実 施 予 定 日	場 所
第 73 回国民体育大会本大会	H30.9.29 (土)～ 10.9 (火)	福井県
第 74 回国民体育大会冬季大会 ●スケート・アイスホッケー競技会	H31.1.30 (日)～ 2.3 (木)	北海道 (釧路市)
第 74 回国民体育大会冬季大会 ●スキー競技会	H31.2.14 (木)～ 17 (日)	北海道 (札幌市)
第 3 回定例理事会	H31.3.13 (水)	未定
臨時評議員会	H31.3.27 (水)	未定

●県スポーツ少年団の今後の主な行事予定

行 事	実 施 予 定 日	場 所
第 41 回秋田県スポーツ少年団大会 ●卓球 ●ミニバスケット ●スキー	H30.12 月下旬～ H31. 2 月下旬	県立体育館ほか
認定員養成講習会 (後期)	H30.10.20 (土)・21 (日) H30.10.27 (土)・28 (日) H30.11.10 (土)・11 (日) H30.11.17 (土)・18 (日)	秋田市 大仙市 能代市 秋田市
東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 ●柔道 ●ミニバスケット	H30.12.1 (土)・2 (日) H31.3.9 (土)・10 (日)	宮城県 青森県
全国競技別交流大会 ●サッカー ●バレーボール (男子) ●バレーボール (女子) ●剣道	H30.12 月下旬 H31.3.28 (木)～ 30 (土) H31.3.28 (木)～ 31 (日) H31.3.27 (水)～ 29 (金)	鹿児島県 大分県 大分県 山口県



チームAKITA 1,000点プラン

県が策定した「第3期秋田県スポーツ推進計画（平成30年～平成33年）」では、「全国や世界のひのき舞台上で活躍できる選手の発掘と育成・強化」を推進の柱に掲げ、政策目標を「国体における天皇杯順位10位台（得点1,000点以上）の成績を目指す。」としています。

この実現に向け、本会が取り組む強化計画として「チームAKITA 1,000点プラン」（平成30年～32年度の3年間）を策定しました。

本計画では、引き続き「選択と集中による強化」、本県競技力向上の根幹を担う「ジュニア層の強化」、近年新たに加わった「女子種別の強化」と、それにあたる指導者の知識・技術の向上、指導環境の整備を実施することとしています。

1 選択と集中による強化対策事業

毎年、天皇杯得点950点以上を確実に獲得できるよう、その中核となる競技団体をターゲット競技として選定し、一層の「選択と集中」により強化を図る「S指定」と、強化てこ入れによりさらに天皇杯得点上乗せを目指す「A指定」、得点獲得競技の拡大を目指す「B指定」の三つに区分し、女子種別の強化とともに施策を展開します。

《ターゲット競技》（競技別天皇杯得点獲得目標点数）

- ・ S指定 『本県の得点源として重点的に強化を図る競技』
 - ◎スキー(130) ◎バスケットボール(55) ◎レスリング(40) ◎フェンシング(48)
 - ◎カヌー SL・WW / FWR(35 / 25) ◎ウエイトリフティング(35)

6競技 (TOTAL 368.0点)
- ・ A指定 『強化てこ入れにより現状からさらに上へ押し上げる競技』
 - ◎弓道(24) ◎陸上競技(20) ◎ボート(35) ◎ラグビーフットボール(44.5)
 - ◎バドミントン(24)

5競技 (TOTAL 147.5点)
- ・ B指定 『“天皇杯得点獲得競技”拡大のため、あと一步の壁の突破を目指す競技』
 - ◎新体操(5) ◎なぎなた(18) ◎クレー射撃(12) ◎ボクシング(2.5) ◎自転車(1)
 - ◎ライフル射撃(2) ◎スピードスケート(1) ◎サッカー(20) ◎ハンドボール(12.5)
 - ◎相撲(12.5) ◎柔道(12.5) ◎剣道(12.5) ◎バレーボール(7.5) ◎軟式野球(8)

14競技 (TOTAL 127.0点)

2 中学・高校年代（ジュニア層）の強化対策事業

高等学校強化拠点校（13校13競技18チーム）を中心に、インターハイはもとより国体において、3年間の指定期間中に結果を必ず出せるよう、県教委・高体連・競技団体と連携して強化します。

全国大会で活躍できる中学生を発掘・育成するほか、中学生強化選手が高校入学後も活躍できるよう、大会終了後から指定期間終了までの対応をきめ細かく行います。

3 指導者の資質向上事業および指導環境の整備

指導者の指導方法・意識が直ちに競技結果に結びつくため、意識改革、資質向上に早急に取り組みます。

4 その他

本計画は、3年間に実施する計画ですが、ターゲット競技を含めて毎年度見直します。



平成30年度 第45回東北総合体育大会 成績一覧

競技名	種別・種目	枠	第45回	通過	
アイスホッケー	成年男子		12月開催		
	少年男子		12月開催		
水泳	少年男子 水球	1	-位	-	
	少年女子 アーティスティックスイミング	2	-位	-	
サッカー	成年男子	2	1位	◎	
	少年男子	3	5位	×	
ボート	成年男子 舵手つきフォア	2	2位	◎	
	成年男子 ダブルスカル	5	3位	S	
	成年男子 シングルスカル	2	5位	×	
	成年女子 舵手つきフォドルブル	1	2位	×	
	成年女子 ダブルスカル	2	3位	×	
	成年女子 シングルスカル	2	2位	◎	
	少年男子 舵手つきフォドルブル	3	1位	◎	
	少年男子 ダブルスカル	2	2位	◎	
	少年男子 シングルスカル	2	6位	×	
	少年女子 舵手つきフォドルブル	2	2位	◎	
フェンシング	成年男子	5	1位	◎	
	成年女子	2	1位	◎	
	少年男子	2	1位	◎	
バドミントン	成年男子	5	1位	◎	
	成年女子	2	1位	◎	
	少年男子	2	5位	×	
カヌー	成年男子	レーシングK-1	3	-位	×
		レーシングC-1	3	-位	×
		スラロームK-1	3	1位	◎
		スラロームC-1	1	1位	◎
		ワイルドK-1	1	1位	◎
	成年女子	レーシングK-1	2	1位	◎
		レーシングC-1	1	-位	-
		スラロームK-1	2	-位	-
		スラロームC-1	1	1位	◎
	少年男子	ワイルドK-1	1	-位	×
		レーシングK-1	4	1位	◎
		レーシングC-1	3	3位	◎
		レーシングK-2	1	3位	×
		レーシングC-2	1	-位	-
		レーシングK-4			
		レーシングK-1	1	-位	-
少年女子	レーシングK-2	1	-位	-	
	レーシングK-4	1	-位	-	
	成年男子	3	6位	×	
	成年女子	3	2位	◎	
ボウリング	少年男子	3	4位	×	
	少年女子	3	6位	×	
	成年男子	5		S	
	成年女子	5		S	
ゴルフ	少年男子	3	-位	-	
	少年女子	5		S	
陸上競技	男子	5	5位	S	
	女子	5	5位	S	
テニス	成年男子	3	6位	×	
	成年女子	3	3位	◎	
	少年男子	5		S	
ホッケー	少年女子	5		S	
	成年男子	1	3位	×	
	成年女子	1	-位	-	
ボクシング	少年男子	1	5位	×	
	少年女子	1	-位	-	
	成年男子	3	6位	×	
バレーボール	少年男子	2	-位	-	
	成年男子	3	6位	×	
	成年女子	2	3位	×	
ビーチバレーボール	少年男子	2	3位	×	
	少年女子	3	3位	◎	
	成年男子	3	3位	◎	
ピーチバレーボール	男子	2	5位	×	
	女子	2	5位	×	
体操	成年男子	1	2位	×	
	成年女子	1	-位	-	
	少年男子	3	2位	◎	
	少年女子	3	5位	×	
	新体操	3	1位	◎	

競技名	種別・種目	枠	第45回	通過	
バスケットボール	成年男子	1	1位	◎	
	成年女子	1	2位	×	
	少年男子	5	1位	S	
レスリング	少年女子	1	1位	◎	
	成年男子	5	1位	S	
	少年男子	5	4位	S	
ウエイトリフティング	成年男子	5	2位	S	
	少年男子	5	5位	S	
ハンドボール	女子	※		×	
	成年男子	2	3位	×	
	成年女子	2	3位	×	
自転車	少年男子	2	5位	×	
	成年男子	5	4位	S	
	少年女子	2	6位	×	
ソフトテニス	成年男子	3	5位	×	
	成年女子	2	4位	×	
	少年男子	5	5位	S	
卓球	少年女子	5	5位	S	
	成年男子	4	6位	×	
	成年女子	2	1位	◎	
軟式野球	少年男子	2	6位	×	
	少年女子	5	4位	S	
	成年男子	4	3位	◎	
相撲	成年男子	5	3位	S	
	少年男子	5	3位	S	
馬術	成年男子			◎	
	成年女子		5位	◎	
	少年男子			◎	
柔道	成年男子	2	3位	×	
	少年男子	2	4位	×	
	女子	44回大会から「女子」	5	2位	S
ソフトボール	成年男子	2	5位	×	
	成年女子	2	3位	×	
	少年男子	1	3位	×	
弓道	少年女子	1	3位	×	
	成年男子	3	3位	◎	
	成年女子	3	3位	◎	
ライフル射撃	少年男子	2	2位	◎	
	少年女子	2	6位	×	
	成年男子	5	5位	◎	
剣道	成年女子			◎	
	少年男子	S	5位	◎	
	少年女子			×	
ラグビーフットボール	成年男子	5	1位	S	
	成年女子	2	4位	×	
	少年男子	2	2位	◎	
	少年女子	2	6位	×	
山岳	成年男子	2	1位	◎	
	少年男子	2	1位	◎	
	成年女子	5	5位	S	
アーチェリー	成年女子	2	4位	×	
	少年男子	2	3位	×	
	少年女子	2	3位	×	
空手道	成年男子	2	5位	×	
	成年女子	2	5位	×	
	少年男子	3	6位	×	
	少年女子	3	6位	×	
	組手	2	5位	×	
銃剣道	成年男子	5	5位	S	
	少年男子		4位		
クレー射撃	成年	トラップ	5	2位	S
		スキート	4	2位	◎
なぎなた	成年女子	演技	5	4位	S
	少年女子	試合	5	1位	S
	成年女子	演技	5	6位	S
	少年女子	試合	4	5位	×

※銃剣道は隔年開催の为国種目無し

【通過】【S】…予選なく出場 【◎】…東北ブロック通過 【×】…不通過 【-】…不出場 【斜線】…未実施
 ◇東北総体未実施競技 【水泳(競泳・飛込・OW)】【テニス(少年男女)】【ゴルフ(成年・女子)】【セーリング】【トライアスロン】【レスリング(女子)】【自転車(女子)】【ウエイトリフティング(女子)】独自で同日開催【冬季大会(スキー・スケート)】



平成30年度 全国高等学校総合体育大会成績

主会期：7月26日(木)～8月20日(月) 会場：三重県、岐阜県、静岡県、愛知県、和歌山県

順位	競技名(種目名)	氏名・所属
1位	フェンシング女子個人フルーレ	土佐 千乃(聖霊②)
1位	フェンシング女子個人エペ	齋藤 華南(秋田商業①)
2位	フェンシング女子学校対抗	聖 霊 成田 琉夏③ 田口 莉帆③ 古川ミサキ③ 土佐 千乃② 成田 実礼①
3位	レスリング男子個人 55kg級	島谷 侃(秋田商業③)
4位	ボート女子舵手つきワドルプル	本 莊 五十嵐いづみ③ 阿部 千裕③ 一色田亜依③ 小松真里奈③ 菊地 清菜② 越川 瞳② 土方 佑夏②
4位	ボート女子シングルスカル	茂内さくら(秋田③)
5位	フェンシング男子学校対抗	秋田北鷹 成田 航也③ 宮崎 泰我③ 佐藤 武揚③ 鈴木 孝明③ 三浦 基輝③
5位	柔道男子個人 81kg級	高橋 大翔(本荘③)
5位	剣道男子個人	及川 拓(秋田南③)
6位	フェンシング男子個人フルーレ	宮崎 泰我(秋田北鷹③)
6位	カヌー男子スプリント・カヤックシングル 200 m	松川 瑛(本荘②)
6位	新体操女子団体	御所野学院 成田 望愛③ 佐々木南美③ 大仲 七海③ 佐々木風夏③ 倉内 奏音③ 谷口 莉央③ 茂木 瑞穂② 平野 陽菜②
8位	カヌー男子スプリント・カヤックペア 500 m	佐々木 絵(本荘②) 阿部 智礼(本荘②)
8位	陸上競技男子砲丸投	小松 魁人(能代松陽③)

平成30年度 全国中学校体育大会 秋田県選手上位成績一覧

主会期：8月 会場：全国各地

順位	競技名(種目名)	氏名・所属
3位	水泳競技男子バタフライ 100 m	鏑野目遼弥(山王③)
3位	ソフトテニス男子団体	森吉中学校 戸沢 佳太③ 西宮 律己② 菅原 典③ 杉淵 忠稀① 中嶋 柊哉② 西宮 想心② 吉田 夕輝② 木村 風太②
3位	柔道男子 73kg級	藤井 孝多(御野場③)
3位	相撲男子団体	合川中学校 齋藤 貴仁③ 金田 魁人③ 櫻田 隼②
5位	柔道男子 90kg級	村田 貴琉(御野場③)
5位	剣道女子団体	勝平中学校 山田 夏③ 秋山 理菜③ 小野 萌子② 菅原 陽菜① 及川日菜子①
6位	水泳競技男子バタフライ 200 m	鏑野目遼弥(山王③)
7位	陸上競技男子走幅跳	杉本 賢真(将軍野③)



第73回国民体育大会 ピックアップ選手・チーム

剣道競技

及川 拓 選手

(秋田南高・3年)

種別 少年男子

種目 団体

東北総体を終え、国体に向けて

私たちは、8月25日に宮城県で開催された第45回東北総合体育大会に出場し、各県総当たりで試合を行った。厳しい試合展開が多く、劣勢に立たされた時もあったが、国体出場を決めることができた。僅差をものできたのは二つの要因がある。

一つは、諦めずに試合を行ったこと。二試合目の宮城県との試合で、私が大将戦で一本を取ることができず、負けてしまった。

チームの雰囲気下がりが、つらい状況だったが、金森康臣監督の「負けたことに負けるな」という一言で気持ちを切り替え、士気を高めることができた。

二つ目は、チーム一丸となって戦えたこと。四試合目の山形県との試合で、全員引き分けとなり、代表決定戦で私が出場した。試合時間も長くなり、体力的にも厳しい状況だったが、このチームで国体に出場したいという強い思いを曲げることなく試合をし、相手が下がったところに面を打ち込み勝つことができた。大事な場面で勝つことができたが、長い試合で私の体力も限界に近づいていた。最終試合の青森県では、勝ったチームが国体に出場するという状況の中、チームの仲間が「及川の前で勝負を決める」という思いで試合に臨み、前4人全員が勝って秋田県が勝利した。チームが一つにまとまり、国体出場が決まった。

国体出場にあたり、指導して下さった先生方、応援して下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、試合に臨みたい。

また、少年男子は4年ぶりの出場になるが、出場することに満足せず、秋田県の代表として、一戦一戦を大切に、上位進出を目指して頑張っていきたい。

少年男子メンバー

- 柿下 光輔 (秋田商業高)
- 加藤 将太 (秋田南高)
- 佐藤 和哉 (秋田商業高)
- 高橋 爽太 (秋田商業高)
- 及川 拓 (秋田南高)



フェンシング競技

田口 莉帆 選手

(聖霊高・3年)

種別 少年女子

種目 フルレ団体

『なまはげの如く気迫で』

私たちフェンシング少年女子チームは東北総合体育大会で2位という成績で国民体育大会への出場権を獲得することができました。目標はあくまでも国体での優勝です。

東北総体は通過点という意味で、結果には満足していますが、私自身の試合内容は満足のいくものではありませんでした。

インターハイでは準優勝でした。同じメンバーで出場する東北総体には、インターハイでの課題を克服するための練習を重ね試合に臨みました。ただ、失点している部分を分析すると、インターハイと同じようなミスをしていました。練習ではできていた前後に素早く動くことで相手の体勢を崩し、隙をついて攻撃するということが、点数を早く取りたいという焦りから攻撃が単調になり、反撃を受けてしまっていたのです。

フェンシングを始めた頃から、私には試合で焦ってしまうという欠点がありました。焦らないようにと思えば思うほど焦ってしまうということを繰り返してきました。この課題を克服するために、自分の中にある「焦り」と真剣に向き合いたいと思います。国体本番での試合を意識しながら1本1本に集中して大会までの練習に取り組んでいきたいと思っています。

私たちのチームは、同じメンバーで昨年度のインターハイ、全国高校選抜大会と優勝することができました。強い仲間と共に、なまはげのような気迫で国体の舞台に臨みます。

少年女子メンバー

- 田口 莉帆 (聖霊高)
- 成田 琉夏 (聖霊高)
- 土佐 千乃 (聖霊高)



バドミントン競技

三好 奈緒 監督

(北都銀行)

種別 成年女子

種目 団体

東北大会の感想と福井国体への意気込み

8月24日(金)に行われた第73回国民体育大会バドミントン競技東北ブロック大会で本国体への切符を手にすることが出来ました。

今年のバドミントン競技の成年女子の部は、東北6県中2県のみのお出場とあり、苦しい戦いとなりました。選手からは、負けれないという緊張感が伝わり、プレッシャーに押しつぶされそうになりながらも1本1本を積み重ね、全勝で勝ち取ることが出来ました。

そのような中で代表の権利を獲得できた事はとても嬉しく思います。

昨年度のアマチュア国体にて、成年女子の部で初優勝を飾ることが出来ましたが、本年度は新たなメンバーで挑む大会となります。

バドミントン日本代表にも属する3名の選手で挑む大会となりますが、日本代表であるからこそ、過信せず、常に謙虚であり、挑戦者の気持ちで臨みたいと思っています。

日頃から温かいご声援、ご支援をいただいている方々に感謝の気持ちをお伝えするのがこの国民体育大会での場だと感じています。

県民の皆様からのご声援、ご期待にお応え出来るよう、1本1戦を大事に積み重ねて、目標である2年連続の優勝を目指し頑張ってください。

成年女子メンバー

- 松本 麻佑 (北都銀行)
- 永原和可那 (北都銀行)
- 川上紗恵奈 (北都銀行)





今年の国体は、福井県を主会場に9月29日から10月9日までを主会期とし、主会期に先行して9月9日から水泳競技やクレー射撃などが順次行われました。
今大会注目したい選手・チームを紹介します。

ウエイトリフティング競技

腰山 浩汰 選手

(秋田県体育協会テクニカルアドバイザー)

種別 成年男子

種目 スナッチ

クリーン&ジャーク

ミニ国体を終えて～国体の抱負～

私の出場したウエイトリフティング競技のミニ国体は、8月25日～26日まで宮城県・柴田高校の体育館で行われました。

結果は1位でクリーン&ジャーク競技においては大会新記録を出すことが出来ましたが、試合内容は満足の行く結果ではなく、国体までの課題が明確になった試合だと感じました。

私はミニ国体での目標を福井国体で全国のトッププレイヤーと戦うことを見据えて、国体で最低限成功しなければいけない重量をミニ国体で成功させるとし、具体的な数字としてはスナッチ 150kg以上・クリーン&ジャーク 190kg以上・トータルでは 340kg以上としました。

8月上旬からミニ国体に向けて調整練習を始めましたが、連日、例年になような猛暑日が続ぎ、なかなか調子が上がってこず、練習のモチベーションも落ちてきてしまい、明確な目標に向かって練習に臨むことが出来ませんでした。その結果がミニ国体の3本目のスナッチ 151kg・クリーン&ジャーク 195kgの失敗に繋がったと思いました。

このことから国体では、まずはどんな場合でも目標をしっかりと持ちながら、1日1日の練習を無駄にしないようにし、環境が違うところでの試合になるので体力をもっとつけなければならぬと感じました。そして、国体ではスナッチ 150kg以上・クリーン&ジャーク 190kg以上・トータル 345kg以上で5位以内を目標に、残された期間を頑張っていきたいと思っています。



ライフル射撃競技

中村 龍星 選手

(明桜高・1年)

種別 少年男子

種目 ビーム・ピストル60発競技

秋田に勝利の風を

私は今年の「福井しあわせ元気国体」へ、ビーム・ピストル競技で秋田県代表として出場する事になりました。

東北・北海道のブロックから国体への上場枠は2人という、大きなプレッシャーがかかり緊張しましたが、最後まで集中することを心がけた結果、出場権を勝ちとる事が出来ました。

高校野球で盛り上がっていた秋田県の夏が過ぎ、次は射撃競技で秋田県の秋が熱くなるような話題を作りたいと思います。

秋田県代表として誇りを持ち、メダルを持ち帰る事を目標として、練習とトレーニングを惜みず頑張っております。

昨年のプレ国体で優勝し、表彰台でメダルをかけてもらった時の喜びと感動をもう一度、この大きな晴れ舞台で味わいたいと思います。

日頃、お世話になっている秋田県ライフル射撃協会の関係者、コーチ、家族への感謝の気持ちを忘れずに、支えてくれた、たくさんの人に恩返しをするためにも勝利の



報告ができるように頑張ってきました。

これを機会に射撃競技が注目されるようになったら嬉しく思います。

皆さん、応援よろしくお願いたします。

馬術競技

藤原 さつき 選手

(乗馬クラブエクセラ)

種別 成年女子

種目 馬場馬術競技

自由演技馬場馬術競技

国体に向けて

昨年初めて東北総体に出場し、2度目の今大会は前回のパートナーの馬とは別のユリス号で出場となり不安がありました。

今年の夏はとても暑い日が続ぎ、ユリスが夏バテをおこし乗れない日が多くありました。

当日は思った以上に馬は落ち着いていて、私の未熟さをたくさんフォローしてくれました。

初めて出場する国体では、成年女子馬場馬術競技と音楽に合わせて運動する自由演技馬場馬術競技の二種目に出場します。

大きな舞台で緊張しますが、ユリスを信じて、後悔しないように丁寧に尚且つ思いつきりのいい騎乗をしたいです。

これまで熱心に指導してくれた夫、馬場馬術強化コーチ、応援してくれた家族、友人、乗馬クラブの会員の皆さん、秋田県馬術連盟の方たちに支えられるように、できる限りの演技をしたいと思っています。



頑張れ！！

秋田県選手団！

巻き起こせ！なまはげ旋風！！





第73回国民体育大会秋田県選手団結団式

平成30年9月4日(火)秋田県立体育館において、第73回国民体育大会秋田県選手団結団式を開催しました。本県選手団は正式競技32競技、特別競技の高校野球の硬式、軟式を合わせて選手・監督439名と本部役員の合計481名が参加します。

○オープニング

結団式に先立ち秋田県警察音楽隊の演奏とカラーガードにより秋田県選手団を激励しました。



秋田県警察音楽隊

○あいさつ

結団式では秋田県選手団小笠原直樹団長が「カー杯正々堂々とすがすがしく戦えば、きっと県民の心に勇気が芽生え、希望が生まれ、感動が湧き上がると思います。昨年の国体は前年の天皇杯順位37位から20位まで大きく躍進しました。県民に誇りに思ってもらえるよう選手・監督・コーチ・役員が共に心を合わせ、試合に臨もう」と挨拶しました。



小笠原直樹団長

○激励のこたば

来賓を代表して、堀井啓一副知事、秋田県議会鶴田有司議長、秋田県教育委員会米田進教育長から激励の言葉を頂いた。



堀井副知事

堀井副知事から「今年はバドミントンで松本・永原ペアがダブルスで世界一、夏の甲子園では金足農業高校が準優勝を遂げました。こうした偉業を成し遂げた競技に次いで、皆さんもそれぞれが持っている資質を十二分に発揮し、頑張ってもらいたい」と激励がありました。

鶴田議長から「皆さんにはこれまで懸命に打ち込んできた練習の成果を信じ、この最高の舞台で持てる力を存分に出し切り、最高のパフォーマンスを発揮されるよう心から期待している。大会では秋田県代表としての自信とふるさとの誇りを胸に頑張ってもらいたい」と激励がありました。



鶴田議長

米田教育長から「皆さんにはこれまで懸命に打ち込んできた練習の成果を信じ、この最高の舞台で持てる力を存分に出し切り、最高のパフォーマンスを発揮されるよう心から期待している。大会では秋田県代表としての自信とふるさとの誇りを胸に頑張ってもらいたい」と激励がありました。

○激励費・団旗の授与

激励費を秋田県、秋田県議会、秋田県教育委員会、秋田県体育協会から選手団を代表してボウリング競技成年女子



米田教育長から激励費を頂く千葉選手

の千葉久恵選手に授与されました。

また、団旗を小笠原団長より、総合開会式で旗手を務める剣道競技少年男子の及川拓選手(秋田南高校3年)に授与されました。



選手宣誓をする田口選手(左)と旗手の及川選手(右)

○選手宣誓

選手団を代表してフェンシング競技少年女子の田口莉帆選手(聖霊女子短期大学付属高校3年)が「第73回国民体育大会に臨み、支えて下さったすべての方々への感謝を胸に日本海に向かって猛々しく雄叫びを上げるなまはげのような気迫で戦う」と力強く宣言しました。

○激励パフォーマンス

モチベーションビデオを放映後、能代松陽高校書道部による書道パフォーマンスが行われ、選手団を鼓舞しました。



能代松陽高校書道部

★本国体新ユニフォーム★

基本カラーは県旗の朱茶と白の2色とし、全国初となるフード付きユニフォームとなりました。左袖にスパッキー、右胸に県章、フードとキャップには秋田県の都道府県番号の5の数字、ジャケット・パンツ・キャップには「AKITA」の文字をプリントしました。

秋田わか杉国体から10年が経ち、選手も素材も進化していることなどから、各競技団体から新調を望む声が多くなり、選手の声に参考をしながら、軽くて動きやすく吸汗性や通気性の優れた素材を採用しました。





アンチ・ドーピングは常識

パラドーピング (paradopoping) という言葉を初めて聞いたのはアテネオリンピック金メダリスト室伏広治選手の講演でした。「食事の時には、決して途中で席を立たない。食事に禁止物質を入れられたらそれで失格だからだ。」パラドーピングとは、相手の選手に禁止薬物を何らかの方法で摂取させて失格させてしまうことを言います。

その行為が、今年1月、カヌー競技で発覚しました。まさか、日本で起こることは予想していませんでした。インターネットで禁止物質のステロイドの錠剤を購入し、相手選手の飲料に混入させました。当該選手は最も重い除名処分となりました。被害者となった選手は、汚名は晴らしたもののドーピング検査陽性の判定は変わらず、順位と競技記録が抹消されました。

トップアスリートの意識の高さとは、勝利するための条件を熟知していることです。オリンピックともなれば表彰台に上がる前に、ドーピング検査のための尿採取を済ませています。その意味で、ドーピングに対する知識は競技を行う選手にとって必須の知識となっています。

国民体育大会では、2003年第58回「NEW!! わかふじ国体（静岡県）」からドーピング検査が導入され、毎回、競技外、競技会併せて約250検体が検査されています。2016年に開催された第71回「希望郷いわて国体（岩手県）」で、初のドーピング陽性者が出ました。日本アンチ・ドーピング規律パネル決定書によれば、自転車競技で優勝した福井県の選手が14種類のサプリメントを摂取し、その内の2製品から蛋白同化男性ステロイドが検出されました。このサプリメントには禁止物質の標記がなく、禁止物質の摂取が意図的ではない事から日本スポーツ仲裁機構による判断によって資格停止4年が4ヶ月に短縮されました。

この選手は、6回のドーピング防止教育を受けていました。「うっかりドーピング」という意味やサプリメント・漢方薬・風邪薬等を服用するときに注意しなければならないことは知っていたはずですが。

もはや日本の選手であればドーピングはしないと言う常識が崩れています。

特に、左に記載した事項を確認し、「福井しあわせ元気 国体・大会」の競技に臨んでもらいたいと思います。

ドーピングを防ぐために！

- 自分が服用等している薬とサプリメントを確認すること
- 特に、漢方薬は使用しないこと
- 薬を必要とする場合は帯同ドクター又はトレーナーに相談すること
- サプリメントは、JADA認定スポンサーシッププログラム以外の製品は使用しないこと
- 喘息薬は治療量の吸入剤は使用できるが、それ以外の剤形は治療使用特例（TUE）が必要なこと。特に、ツロブテロールは禁止物質なので要確認のこと



鳥海 良寛 氏

- (有)とりうみファーマシー
- (公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA) 公認スポーツファーマシスト
- (公財)秋田県体育協会 スポーツ医・科学委員

福井国体に向けたアンチ・ドーピング講習会

平成30年9月4日（火）秋田県立体育館にて、福井国体に参加する監督・選手を対象としたアンチ・ドーピング講習会を開催しました。JADA公認スポーツファーマシストの鳥海良寛氏から、ドーピング検査の手順やアンチ・ドーピングの理念、以前には考えられなかった「パラドーピング」の事例と予防法まで丁寧に指導していただきました。受講している監督・選手は、身近な問題として真剣な眼差しで説明を聞き、国体に向けて身を引き締めた様子でした。





秋田県中学生強化選手指定証交付式



指定証を交付する堀井副知事



決意表明する近藤さくら選手

平成 30 年6月 23 日（土）秋田テルサにおいて第 14 期秋田県中学生強化選手指定証交付式を挙行了しました。

この中学生強化選手制度は、将来全国規模の大会で上位入賞できるよう、選手強化及び競技力向上を図ることを目的として、平成 23 年度にスタートしました。秋田県、秋田県教育委員会及び秋田県体育協会が3者連名で指定する「中学生強化選手」は、各競技団体が主催する高校生との合同練習や合宿、県体育協会が主催する競技力向上研修、パフォーマンステスト、トレーニング研修等に参加できるほか、医学に関するサポートを受けることができます。

指定証交付式では、堀井副知事から指定証が交付され、激励の言葉をいただきました。その後、中学生強化選手を代表し、スキー（クロスカントリー）競技の近藤さくら選手（合川中学校3年）が「指定を受けたことに責任を感じながらも大きな希望で満ち溢れている。指定選手として技術、競技力向上はもちろんの事、私生活でも他の模範となるようなふさわしい行動をとり、日本を代表する選手を目指します。」と力強く決意表明をしました。

今回は、スケート（スピードスケート、フィギュアスケート）、スキー（アルペン、クロスカントリー、ジャンプ・コンバインド）、陸上競技、バスケットボール、レスリング、卓球、柔道、バドミントン、ライフル射撃、剣道の 10 競技（13 種目）56 名を新たに指定しました。この制度ではこれまで延べ 844 名が指定を受け、高校進学後に全国制覇を成し遂げる選手も生まれています。現在中学校に在籍している強化指定選手 154 人が、全国での活躍を目指し今日も頑張っています。

秋田県中学生強化選手メディカルチェック

指定証の交付式が行われた平成 30 年 6 月 23 日（土）午後、同会場の会議室で秋田県中学生強化選手のメディカルチェックを行いました。今回は秋田県体育協会医科学委員のドクターを中心に 10 名の整形外科のドクターと 2 名の看護師の方々にご協力いただき、血液検査、関節可動域のテスト（立位、座位、伏臥位、仰臥位）、運動機能テスト、超音波診断、問診を行いました。各検査会場ではテストや検査を行いながら、選手のコンディションを確認し、即時評価とアドバイスを行い今後のトレーニングや生活に生かしてもらえるようにしています。

また、詳しい検査結果が出た後で、（今回は 9 月 8 日（土）、15 日（土）に実施）選手ひとりひとりにスポーツドクターによるフィードバックを行い怪我の予防から競技力向上にむけた指導まで、たくさんのアドバイスをいただきました。これをもとに秋田県中学生強化選手が更なる飛躍を遂げてくれることを期待しています。



関節可動域テストの様子



超音波診断の様子



フィードバックの様子



平成30年度秋田県中学生強化選手資質向上研修 I

平成30年9月1日（土）から2日（日）の2日間にわたり、秋田市太平山自然学習センターまんならめにおいて今年度初の合宿研修が開催されました。秋田県中学生強化選手の1・2・3年生全学年を対象とし、全競技17競技154人中12競技から80名が参加しました。



開講式



選手を代表して決意を話す藤原健太郎さん



真剣な表情でメモを取る選手たち

今回の研修は、選手が大舞台で力を発揮するために、パフォーマンスに特化した内容のみならず、競技力向上を目指す上で最も土台となるハート（気持ち）・ブレイン（思考）・ジャッジメント（判断）の3つを取り上げ実施しました。

知的能力や人間育成につながる「コミュニケーション能力」や「集団活動における個の役割・考え方」「感謝の気持ちを持つこと」「スポーツ栄養学」「世界で活躍するアスリート講話」など、多様なプログラムで研修を行いました。



コミュニケーションプログラム



野外炊飯で協力し合う選手たち



栄養学プログラムでおにぎりを握る選手

特に「世界で活躍するアスリート講話」では、本県出身の第39代WBC世界フライ級王者の五十嵐俊幸氏が講師として登場し、チャンピオンベルトを強化選手達に触れさせながら、「できる事をできる期間にできる限り」取り組む重要性を示し、選手達にはとても貴重な研修会となりました。



講話をする五十嵐俊幸氏



数年ぶりの恩師とのミット打ち



2日間の感想を述べる鎌田宇朗さん

参加した選手からは、「コミュニケーションプログラムを通して、自分から積極的に交流することの重要性を知った」、「競技力向上のためには、普段の生活で周りの環境に感謝の気持ちを持ちながら、何事にも全力で行動することが大切だと思った」などの声があがり、来年はまた一回り成長した姿を見せることを共に誓い、研修の幕を閉じました。



期待のジュニアアスリート VOL. 1

秋田県中学生強化選手の中から、全国大会を経験した3名の選手に競技との出会いや魅力、今後の目標を聞きました。



水沢 紗瑛選手
(天王南中学校 3年：柔道)



櫻田 隼選手
(合川中学校 2年：相撲)



成田 千栞選手
(北陽中学校 3年：陸上競技)

Q. 競技との出会い・きっかけは？

水沢：私は父に勧められて始めました。最初は嫌々やっていたのですが、試合に出てステージに立てることが段々嬉しくなり、ここまで柔道をやってきました。

櫻田：僕は小学校の時、仲の良い友達に誘われたからです。実際に見てとても楽しそうだったので始めました。

成田：私は小学校の時、どうしても運動会で1位になりたくて地元のGANBAジュニア陸上クラブに入りました。今でもクラブにはお世話になっています。

Q. 競技の魅力・醍醐味は？

水沢：武道ならではの礼儀を重んじるのが好きです。また、投げ技が成功したときは快感があります。

櫻田：相撲は体の大きさや力の差があっても勝負がわからないところが魅力のひとつだと思います。そして、実は技がとても多くて美しいスポーツなのです。僕は自分より大きい相手に勝つ時が最高の瞬間です。

成田：私がやっている100mは、一瞬で勝敗が決まるのが好きです。

Q. 出場した全国中学校大会はどうでしたか？

水沢：全国大会では思うように体が動かなく、負けてしまいました。今まで練習してきたことを出せずに悔いが残っています。これからはこの悔しさを忘れず練習に励みます。

櫻田：会場が大きくて雰囲気に吞まれそうになりましたが、自分の相撲を取り会場を沸かせることができたので良かったです。

成田：入賞を目標にしていたのですが、力を出せずに終わってしまいました。悔しい気持ちと申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、この大会を通して改めてどんな時も期待に応えられる選手になりたいと思いました。

Q. 今後の目標は？

水沢：高校生になったら1年生からインターハイに出場できるような選手になりたいです！

櫻田：来年の全国中学校大会でベスト16に入ります！

成田：国体・ジュニアオリンピックで納得のいく走りをする！

秋田県スポーツの明るい未来を、君たちが切り拓け!!



秋田県スポーツ少年大会兼ジュニア・リーダーズスクール

県内のスポーツ少年団員（小5～中学生）が一堂に集い、野外活動やスポーツ、集団生活などを通して2泊3日の交流・研修を行う事業で、今年で54回目を迎える。8つの分団に分かれ、運動会や野外炊飯等に取り組みながら交流を深めた。県リーダー会（高校生以上）が各種プログラムを立案、運営し、リーダーとしての研鑽の場にもなった。強風のため運動会の一部とキャンプファイヤーが室内に変更されたが、爽やかな高原の施設で元気にプログラムに取り組み友情を育んでいた。

なお、本事業は、日本スポーツ少年団のリーダー養成事業も兼ねており、海外派遣などの基礎条件にもなっている。

- 期 日 平成30年7月27日（金）～29日（日）
- 会 場 仙北市 秋田県立田沢湖スポーツセンター
- 参加者 小学5年～中学生71名、リーダー12名
引率指導者8名（各市町村より）

主な内容 レクリエーションゲーム、歌・ダンス、講義（スポーツ少年団、リーダーについて、分団旗づくり）、運動会、一輪車体験、野外炊飯、キャンプファイヤー（キャンドルファイヤーに変更）、まとめ（寄せ書き等）

- 池田 粋己（小6） 大湯村複合
交流を深めたレクリエーションゲーム、歌やダンス、キャンドルファイヤーが楽しかったです。

このリーダーズスクールで、友達との交流を深め、リーダーについて知ることができました。



- 藤邑 晃暢（小6） きたうらアクア

仙北市から一人だけの参加だったので最初は不安でしたが、徐々に友達ができ信頼関係ができました。1日目、寝るとき楽しくて全く眠れませんでした。睡眠時間が短いと次の日ががんばれないので少し眠りました。

運動会は最下位でしたが一番楽しめました。3日間、ほんとうに楽しかったです。

参加者の感想

- 飯尾 月葉（中1） にかほ市リーダー会

分団のみんなと協力して勝ち取った運動会の優勝や野外炊飯のカレーは、いい思い出となりました。講義では、感謝することやフェアプレイについて学びました。

体調を崩した人に気づけず分団長としてふがいない思いをしましたが、その他のことは仲間や指導者、リーダーに助けをもらいながら役割を果たすことができました。

- 柴田結愛乃（小5） 能代北バレーボール

一番楽しかったのは野外炊飯です。8人の力を合わせ、びっくりするほどおいしいカレーをつくることができました。一番学んだことはリーダーについてです。どんなリーダーがよいか、みんなで見つけることができました。



日独スポーツ少年団同時交流事業(受入)報告

本事業は、日本のスポーツ少年団員とドイツのスポーツユエグント（スポーツクラブの青少年）が同時期に訪問し、民泊を基本とした国際スポーツ交流で45回目となる。日本国内は各都道府県の1市町村が受け入れる。今年度、秋田県は大館市スポーツ少年団が受け入れた。大館市では36年ぶり、旧比内町としては17年ぶりとなる。

○期日：7月26日～30日（4泊5日）

○ドイツ団：ドイツ体操スポーツクラブ員 指導者1名、団員8名

○主なプログラム

1日目：市長表敬訪問、歓迎会。2日目：寺院で法要見学、琴・日本刀の鑑賞、茶道、秋田犬とのふれあい、スポーツ交流（柔道、剣道、体操）。3日目：ホストファミリーとの交流日（観光、温泉、スポーツ等）。4日目：長走風穴館（冷風）見学、ディスカッション、お別れ会。5日目：移動

○概要

プログラムは、日本的な文化や武道に触れられることや、大館市の

良さを体験してもらえよう配慮した。

地元高校生との交流として重点を置いたディスカッションは、「スポーツにおけるインクルージョン」がテーマ。事前に準備を重ねてきた資料を、自分たちの英語と通訳の助けを借り熱心に発表していた。健常者、障がい者、人種、性別など、お互いを理解・協力しあって一緒に活動することの意義についてより理解を深めた。同年代の外国人との意見交換は貴重な体験となった。

お別れ会では、ドイツ団から組体操が披露され会場を沸かせた。各テーブルでホストファミリーと思い出を語ったり記念写真を撮ったりし、別れを惜しんでいた。団員は皆明るく、活発で、礼儀正しい若者であった。

日本各地で最高気温を更新した今年の夏、数々のさわやかな思い出を残してくれたドイツ団員に感謝し、またいつの日か大館を訪れてくれることを願う。（大館市スポーツ少年団事務局 齋藤隆悦）





チャレンジデー 2018 あきた

～4年連続で県内全自治体が参加・25市町村が多彩なプログラムを開催～

◎決起集会

チャレンジデーは、日常的に運動・スポーツを楽しむきっかけづくりを目的に、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される住民総参加型スポーツイベントです。人口規模がほぼ同じ自治体同士で、15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率を競い合うというルールで、敗れた自治体は、相手の旗を庁舎に掲揚して健闘を称えます。この対戦をきっかけに自治体間での継続的な交流が生まれています。今年度は平成30年5月30日(水)に開催されました。チャレンジデー開催前の5月22日(火)秋田市の秋田県市町村会館を会場にして、「チャレンジデー2018あきた決起集会」が開催されました

「チャレンジデー2018」の本番に向けて、佐竹知事・佐々木県観光文化スポーツ部長・渡邊笹川スポーツ財団理事長・小笠原県体育協会会長・他25市町村長が集結し、参加者全員で「頑張ろう」エールで健闘を誓い合いました。



決起集会(5月22日) / 秋田県市町村会館

◎チャレンジデー2018《5月30日(水)開催》

イベント本番の5月30日(水)は、各自治体で作成したプログラムを元にさまざまな運動が各市町村で行われました。ラジオ体操やジョギングやグラウンドゴルフやバレーボールなど、各市町村がそれぞれ趣向を凝らしたプログラムで運動やスポーツが行われました。

また、チャレンジデー大使として、秋田県や県体育協会から選出された湊祐介さん(スキー・コンバインド)、石垣寿美子さん(スキー・クロスカントリー)、三浦隆司さん(ボクシング・県体協テクニカルアドバイザー)ら県出身のトップアスリートが県内各地を訪問し参加者とふれあいながら運動やスポーツを楽しみ、チャレンジデーを大いに盛り上げていただきました。

本県では4年連続で全自治体(25市町村)が参加し、参加者数は、689,052人(昨年は627,205人)参加率は69.5%(昨年は61%)でした。県内全自治体の参加は全国唯一であり、参加自治体数も全国で最多となりました。

日本全国の参加率は、該当する総人口数が5,421,606人で総参加者数が3,315,699人(昨年は3,391,469人)で全体参加率が61.2%(昨年は57.7%)でした。



グラウンドゴルフ大会(五城目町)
雀館運動公園芝生広場



みんなでラジオ体操(秋田市)
あさぎんスタジアム



チャレンジデー記念イベント(東成瀬村)
多目的グラウンド



◎県内結果

勝敗 12勝 14敗

メダル数 金 23 個、銀 2 個（※メダルはカテゴリー人口に対して授与基準（%）が設定されている。）

◎チャレンジデーアワード受賞自治体（秋田県関係分）

カテゴリー別優秀賞「各カテゴリー（1～6）で最も参加率が高かった自治体に贈られる賞」

カテゴリー2《人口 5,000～9,999 人》秋田県五城目町 85.9%（参加者数 8,180 人／人口 9,519 人）

カテゴリー5《人口 70,000 人～249,999 人》秋田県横手市 95.9%（参加者数 87,843 人／人口 91,620 人）

公益財団法人笹川スポーツ財団からアワード賞授与のため、中島光常務理事、竹下克彦さん、森田容子さんの3者が来秋いたしました。

8月8日（水）横手市役所を訪れて石山清和副市長に、8月9日（木）は五城目役場を訪問して武田和栄副町長に、それぞれアワード賞（カテゴリー別優秀賞）を贈呈いたしました。



石山横手副市長(左)と中島SSF常務理事



武田五城目副町長(左)と中島SSF常務理事

チャレンジデー 2018 チラシ大賞「オリジナリティにあふれ、広報ツールとして優れたチラシを作成した自治体に贈られる賞」

秋田県美郷町が一次選考の 10 自治体にノミネートされ、最終選考では第 2 位となりました。

最終選考では惜しくも大賞は逃しましたが、高い評価を得ました。

秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

～全県交流大会、地区交流会を開催中～

◎全県グラウンドゴルフ交流大会

9月9日（日）、全県グラウンドゴルフ交流大会が、三種町惣三郎沼公園の特設コースで、44 名が参加し開催されました。主管クラブは山本地域スポーツクラブ。当日は連日の雨の影響で公園内の野芝もかなり水を含み、プレー中に小雨の降るコンディションでしたが、各自 4 コース 32 ホールを 4 人一組のグループで、約 3 時間半に渡ってプレーを楽しみました。

表彰式では男女とも第 1 位～6 位までに賞状と副賞が授与されました。またホールインワンを達成した方もおり、和気あいあいとした中にもレベルの高い戦いが繰り広げられました。



プレー中



表彰式



表彰式

◎今後の予定

10月28日（日） 全県クラブ 8 人制バレーボール交流大会（由利本荘ナイスアリーナ）

主管クラブ：尾崎スポーツクラブ

11月4日（日） 県北地区クラブ交流会（鷹巣体育館）

主管クラブ：あいあいクラブたかのす

11月24日（土） ブロッククラブネットワークアクション 2018

～25日（日）（開催地/青森県弘前市・会場：土手町コミュニティパーク）



トップアスリートと企業のマッチング

—アスリート競技活動サポート事業— 採用事例6社 (2016.7～2018.4)

A K H(株) 秋田病理組織細胞診研究センター (秋田市)

事業内容 / 地域に根差した病理診断・細胞診断・検査事業

【採用アスリート】



■カヌー・スラローム / カナディアンシングル

佐藤 彩乃 2017.4.1 入社

1998 年生まれ 秋田県仙北市出身 秋田県立角館高等学校卒

2016. アジア選手権大会出場

2017. えひめ国体 (成年女子) カナディアン S(15G 第1位 / 25 G . 第1位)

・アスリートからのメッセージ

『社長はじめ、社員の方々も良い方ばかりの恵まれた環境に感謝しております。採用されて以前よりも安心して、競技に打ち込めるようになりました。いつも皆さんから、たくさんの応援をいただいております。私も競技で良い成績をとって会社へ貢献したいと思っております。』

・阿部社長からの応援メッセージ

『佐藤選手は、本当に、我々が経験できないことをしていますし、インターナショナル、世界を見てます。そういった大きい視野に立った形で応援していきたいと思っておりますし、ぜひ私どもの会社を背負って、頑張ってくださいと思います。』

A L S O K 秋田(株) (秋田市)

事業内容 / A L S O K グループ (警備・防犯・防災・ビル管理業)

【採用アスリート】



■レスリング / フリースタイル 61 K g 級

菊地 憲 2017.7.10 入社

1986 年生まれ 秋田県秋田市出身 日本体育大学卒

2003. 全国高等学校選抜選手権 54 K g 級優勝

2014. 米国ビル・ファーレル国際大会 61 K g 級第2位

全日本社会人レスリング選手権大会 61 K g (2013 年から 3 連覇)

・アスリートからのメッセージ

『理解してくれる会社に心から感謝しています。勝つ事で恩返しをし、地域の方々にも A L S O K 秋田をアピール出来たらという思いで日々トレーニングをしています。営業中にもお客様から、新聞やインターネットで名前を見たとき声を掛けていただいた時は本当にモチベーションが上がります。今年は再び日本代表で海外遠征することが最大の目標です。』

・袴田総務 兼 人事課長からの応援メッセージ

『現在、本社の営業第2課に所属しております。主な業務内容は、お客様の新規開拓と既存顧客の管理ですが、丁寧な仕事ぶりで、もともと真面目な性格ですし、お客様の評判も良く、頑張っています。練習のため、早めに退社するといった場合などには、積極的に許可しています。もちろん、自分の仕事もある訳ですから、大会期間中は、全面的にサポートして、お客様には迷惑がかからないようにしております。菊地君には会社、そして秋田県の代表ということをバックボーンに頑張ってもらいたいと思っております。』



(有)鶴の湯温泉 (秋田県仙北市)

事業内容 / 宿泊温泉業 (乳頭温泉郷) 日本秘湯を守る会

【採用アスリート】



■カヌー・スラローム / カヤックシングル

佐々木 翼 2017.8.10 入社

1983 年生まれ 秋田県仙北市出身 秋田経済法科大学卒

2016. カヌースラローム日本総合ランキングK -1 第 1 位

2016. カヌーワイルドウォーター日本総合ランキングK -1 第 2 位

2017. えひめ国体 (成年男子) カヤックS (15 G・第 2 位 /25 G・第 2 位)

・アスリートからのメッセージ

『佐藤会長はじめ、従業員の皆さん方の理解をいただきカヌー競技ができることに大変感謝しております。私自身も『鶴の湯』という圧倒的な知名度に負けないうように、職場にも貢献しながら、また、皆さんの期待に応えられるよう、競技でも頑張るって活躍したいと思っております。』

・佐藤会長からの応援メッセージ

『秘湯ブームの流れから、国内外からたくさんのお客様にご利用いただいております湯治場温泉です。山奥の温泉宿での仕事ということで、最初はトップアスリートのモチベーションに影響があるのではと心配していましたが、地元出身かつ、自然派ということもあり違和感なく職場へ溶け込んでくれております。海外からのお客様も増えており、海外経験も豊富な翼選手の職場での存在は大きいものがあります。彼の競技での活躍で更に鶴の湯のグレードも上がっていくと思っております。』

田沢湖高原リフト(株) (秋田県仙北市)

事業内容 / 秋田県指定管理施設の管理運営 (田沢湖スキー場、県立田沢湖スポーツセンター)

【採用アスリート】



■スキーフリースタイル / モーグル、デュアルモーグル

藤井 昌織 2018.4.1 入社

1995 生まれ 長野県北安曇野郡白馬村出身 松本大学卒

2013 世界ジュニア選手権 (イタリア) 出場

2016. カナダ選手権出場

2017. フリースタイルふくしま大会第 3 位

・アスリートからのメッセージ

『この度の採用で、フリースタイル・モーグルスキーの競技選手として、サポートしていただけることに大変感謝しております。国際大会・国内大会で活躍することを通して、会社並びに秋田県へ貢献できるよう努力していきます。今後、秋田県のモーグルスキー選手が増えていき、秋田県のモーグル競技の発展へとつながるよう頑張っていきたいと思っております。』

・福原前社長からの応援メッセージ

『田沢湖スキー場はワールドカップのモーグルレース会場としての知名度が高くなってきており、また、世界的にも素晴らしいコースだと評価をいただき施設も立派になりました。藤井選手には選手としても勿論頑張ってください、また地域貢献もしていきながら、さらにモーグル競技の普及・振興に活躍して欲しいと思っております。』

秋田ノーザンハピネット(株) (秋田市)

事業内容 / プロバスケットチームの運営、スポーツイベントの企画・運営主催など

【採用アスリート】



■ラート

高橋 靖彦 2018.4.1 入社

1985 年生まれ 秋田県仙北市出身 筑波大学人間総合科学研究科体育学専攻修了

2015. 第 11 回世界ラート競技選手権大会男子個人総合優勝

2016. 第 12 回世界ラート競技選手権大会個人総合第 3 位

2018. 第 13 回世界ラート競技選手権大会男子個人総合優勝 (総合 3 度目)

2012 ~ 2017 全日本ラート競技選手権大会男子個人総合 6 年連続優勝



・アスリートからのメッセージ

『この度は貴重なご縁をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。地元秋田の名を、全国、世界に発信できるよう、これまで以上に努力する決意を胸にしています。そして、2019年4月に日本で初開催となる世界チームカップ（秋田市）の成功と優勝を目指します。応援の程よろしく願い申し上げます。』

・水野社長からの応援メッセージ

『会社としてはバスケットボールやそれ以外のスポーツでも将来世界で活躍するようなアスリートを輩出できるように、スポーツの発展、アスリートの育成、そういったものを目指しております。高橋さんのキャリアを活かした体操教室の開催や、コーディネーショントレーニングなどで体幹などを鍛えるようなことを通して秋田の子供たちが習えるような環境を作っていきたいと考えています。』

シード(株) (秋田県北秋田市)

事業内容 / スポーツ衣料の制作・製造・販売

【採用アスリート】



■スキー / コンバインド

湊 祐介 2018.4.1 入社
1985年生まれ 秋田県北秋田市出身
日本大学から東京美装興業(株)で活躍
2009. 世界選手権リベツ（チェコ）団体優勝、個人6位
2013. 世界選手権イタリア団体ノーマルヒル 4位
2014. ソチオリンピック団体 / ノーマルヒル 5位
2018. 第73回 国民体育大会成年男子B 2位

・アスリートからのメッセージ

『今年の4月から秋田でスキー活動をさせていただいておりうれしい限りです。なにより、私を採用してくださった会社への感謝の気持ちでいっぱいです。これからは秋田県民として良いご報告ができるようスキー競技に集中して努力していきます。皆様に応援していただける選手を目指します。』

・中嶋専務からの応援メッセージ

『今後会社としてスポーツウエアの販売にも力を入れていきたいと考えております、湊選手には競技での活躍は勿論、トップアスリートが認めたものを提供している会社であることを一般の方にも知って頂ける架け橋になって欲しいと期待しております。』

———秋田県「正規雇用奨励金」「競技活動サポート補助金」のお知らせ———

本会の職業紹介所を利用してトップアスリートを正規雇用した企業等は、県が行う正規雇用奨励金（200万円）の支給（1回のみ）と、競技活動サポート補助金（上限年240万円）の交付（5年間）を受けることができます。

※要件の詳細については、本会ホームページでご確認いただくか、下記担当者にお問合せ下さい。

●トップアスリートの要件（要約）

一般要件は秋田県内に居住するもので、国体での上位入賞を目指す意欲があり、将来指導者を志すものであって、個別要件では過去の競技成績実績及び競技団体の推薦などが必要です。

●企業等の要件（要件）

一般要件は秋田県内に事業所を有する事業主であり、個別要件ではアスリートの競技活動を支援する事業主であることと、期間の定めのない正規雇用が要件です。

公益財団法人 秋田県体育協会

秋田トップアスリート無料職業紹介所（厚生労働省認可 05-ム-300018）

担当者 就職推進アドバイザー 佐々木 功

所在地 〒010-0974 秋田市八橋運動公園1番5号 スポーツ科学センター2F

電話 018-864-8094 / FAX 018-864-5752

E-mail akitaikyo0711@yahoo.co.jp

HP <http://www.akitaikyo.or.jp/job/>



第26回 日・韓・中ジュニア交流競技会が 韓国・全羅南道 麗水市で開催されました

会 期 平成 30 年 8 月 23 日～29 日



第 26 回日・韓・中ジュニア交流競技会が、韓国を代表する海洋観光・リゾート都市の麗水市で開催された。日本選手団は、中央競技団体から推薦された選手や指導者に本部役員を加えた 253 名(帯同コーチ等含む)で編成され、公益財団法人日本スポーツ協会より韓国へ派遣された。

本競技会は、日本、韓国、中国の 3 カ国の青少年（高校生世代）がスポーツという世界共通の文化を通じて交流し、相互理解を深めるとともに競技力の向上を目的に、平成 5 年（1993 年）より 3 カ国が毎年持ち回りで開催している。第 1 回大会（福島県）は、9 競技 647 名で始まったが、第 26 回目となる今大会は、11 競技 951 名にまで規模が拡大し、回を重ねるごとに充実・発展している。

また、過去の大会の参加者が、オリンピックをはじめとする国際大会で活躍するなど、多くの実績を残している競技レベルの高い大会である。

一方では、各国の選手・役員がスポーツを通じて交流や親交を深めることを重視しており、選手権大会等とは違って、表彰が行われないことも特徴である。

大会を支える運営・競技スタッフやフレンドシップ交流（各国の代表競技団体による歌やダンスを披露する交流）にも多くの高校生が関わっており、選手だけでなく 1,000 人以上の高校生による大規模な国際交流が行われた。

来年は中国・長沙市で、そして 2020 年には本県での開催が決定している。今年、韓国・平昌（ピョンチャン）で開催された冬季オリンピック・パラリンピックを皮切りに、2020 年には東京で夏季オリンピック・パラリンピックが、2022 年には中国・北京で冬季オリンピック・パラリンピックが開催され、アジアのスポーツが世界中から注目されている中、今大会から多くのアスリートや指導者が世界へ羽ばたくことが期待される。



【開会式】



【ラグビーフットボール】



【バドミントン男女】

■日本選手団 団体競技の参加チーム

競 技	所属・チーム編成
サッカー	第 26 回全日本高等学校 女子サッカー選手権大会優勝チーム
バレーボール（男女）	全日本ユースチーム
バスケットボール（男女）	U-18 日本代表
ハンドボール（男女）	高校日本代表
ラグビーフットボール	U-17 日本代表



【バスケットボール女子】

■過去の大会に参加したオリンピックメダリスト

競 技	出場大会（開催地）	選手名	オリンピック成績
陸上競技	100 m 第 9 回（中国・瀋陽）	高原 慎平	北京 男子 4 × 100 m リレー 銅メダル
	200 m 第 10 回（熊本）		
	100 m 第 11 回（韓国・済州）	塚原 直貴	北京 男子 4 × 100 m リレー 銅メダル
	200 m 第 17 回（韓国・木浦）	飯塚 翔太	リオデジャネイロ 男子 4 × 100 m リレー 銀メダル
バレーボール	第 11 回（韓国・済州）	木村 沙織	ロンドン 女子 銅メダル
卓 球	第 18 回（中国・鄭州）	吉村 真晴	リオデジャネイロ 男子団体 銀メダル
バドミントン	第 13 回（北海道）	藤井 瑞希	ロンドン 女子ダブルス 銀メダル
		高橋 礼華	リオデジャネイロ 女子ダブルス 金メダル
	第 16 回（千葉）	松友美佐紀	リオデジャネイロ 女子ダブルス 金メダル



県内スポーツの主なできごと

4月

- 1日 JOC エリートアカデミーにライフル射撃の西田葵（御所野小出身）が入校
- 13日 第3期秋田県高等学校強化拠点校に13校13競技18チームを指定
- 19日 県高等学校体育連盟評議員・理事合同会議
- 20日 県特別支援学校体育連盟評議員・理事合同会議
- 23日 県体協加盟団体事務局長会議を開催
- 27日 県スポーツ少年団委員総会を開催

5月

- 2日 県中学校体育連盟総会
- 8日 2020～22年の学生スキーの全日本選手権が花輪スキー場で開催されることが決定
- 10日 ラート競技の世界選手権の男女個人総合で男子は高橋靖彦（秋田ノーザンハピネッツ）が2大会ぶり3度目の優勝、12日の男女種目別でも2種目を制した
- 22日 「チャレンジデー」決起集会
- 28日 バドミントン世界選手権女子ダブルスに永原和可那、松本麻佑組（北都銀行）の初出場が決定。また、米元小春、田中志穂組（北都銀行）も2年連続2度目の出場を決めている
- 30日 「チャレンジデー」に全25市町村で、69万人が参加

6月

- 6日 バドミントンジャカルタ・アジア大会混合ダブルスの女子メンバーに米元小春（北都銀行）が選出
- 7日 県体協定例理事会を開催
- 14日 日本スポーツ協会が、「国民体育大会」の名称を2023年から「国民スポーツ大会」に改める改正スポーツ基本法が成立したことを受け、大会の略称を「国体」から「国スポ」に変更することを決めた
- 20日 金足農業高校の吉田輝星投手がU18アジア選手権代表候補選手に選出
陸上女子400メートル障害の関本萌香（大館鳳鳴高出身）がU20世界選手権代表に選出
- 23日 県競技力向上連絡協議会
第14期県中学生強化選手の指定証交付式を開催。10競技56人を新たに指定
- 27日 県体協定時評議員会、臨時理事会、受賞者祝賀会を開催

7月

- 8日 バドミントンのインドネシア・オープンで永原和可那、松本麻佑組（北都銀行）が2位
- 20日 2020年東京五輪聖火リレー秋田県実行委員会が設立

8月

- 5日 バドミントン世界選手権女子ダブルスで、永原和可那、松本麻佑組（北都銀行）が金メダル、米元小春、田中志穂組（北都銀行）が銅メダル
- 17日 重量挙げの世界マスターズ選手権大会で（～25日）男子69キログラム級M80（80歳以上の部）で秋田市の小林努（行政書士）が銅メダル
- 21日 第100回全国高校野球選手権記念大会で金足農業高校が県勢103年ぶりの準優勝

9月

- 1日 ジャカルタ・アジア大会のカヌースプリント女子カヤックシングル200メートルと女子カヤックペア500メートルで小野祐佳（県体協）が銅メダル
中学生強化選手競技力向上研修（～2日）を開催
- 4日 県体協定例理事会を開催
- 4日 国民体育大会秋田県選手団結団式、役員・監督合同会議、ドーピング防止講習会を開催
- 4日 サッカーU13スペイン遠征に松岡涼空（土崎中1年）が選出



チャリティゴルフコンペを開催し、オリンピック・パラリンピック候補選手に支援します

6月23日（土）県体協主催「チャリティゴルフコンペ」を、ノースハンプトンゴルフ倶楽部にて開催しました。平成24年度から通算7回目の今回は、59名の方にご参加いただき、総額118千円の寄付金を頂戴しました。開催にあたり、多数の企業等からコンペ賞品として協賛品をご提供いただほか、ノースハンプトンゴルフ倶楽部からは様々なご配慮をいただきました。

寄付金は、オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金として活用させていただきます。

参加者の皆様、協賛各社はじめご支援くださった皆様に感謝申し上げます。

【協賛企業】

- 秋田いすゞ自動車(株)
- 秋田ノーザンハピネッツ(株)
- ミズノ(株)営業本部北日本支社 仙台営業所
- (株)秋田魁新報社
- (医)圭山会山王整形外科医院
- みちのくコカ・コーラボトリング(株) 秋田営業部所
- 秋田ゼロックス(株)
- (有)佐藤養助商店
- (株)しもむら
- (株)秋田中央機工
- 秋田テレビ(株)

オリンピック・パラリンピック候補選手 近況メッセージ

— 小野 祐佳 —



カヌースプリント競技の小野祐佳です。

現在はナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設（文部科学省指定）がある石川県小松市に拠点を移動して、競技生活を送っています。1年を通して国内外での合宿が続き、県体育協会をはじめ多くのご理解とご支援をいただいていることに日々、感謝しています。

来年には、東京オリンピックの出場枠を獲得する世界選手権が8月21日から25日までハンガリーで、その後10月12日から16日までタイでアジア大陸予選があります。

今年のアジア大会では2つの銅メダルをもらいましたが、金メダルを目指していたので現実には厳しいと再確認しました。

オリンピックの枠を自力で獲得するためには最低でも各種目アジア地域で1位でなければなりません。

復帰して3年目の年に入りますが、これまで以上に気を引き締めて1日1日確実に進んでいかなければいけないと覚悟を新たにしています。引き続き応援よろしくお願いたします。



秋田ノーザンハピネッツ(株)の寄付金を活用した助成事業を行っています。

6月29日（金）秋田ノーザンハピネッツ株式会社から、本県のバスケットボール競技の振興等に役立ててほしいと100万円の寄付がありました。

県体協では、「バスケットボール競技普及等助成事業」として、県内の小・中・高等学校等の児童生徒を対象とした事業に助成します。

同社からの寄付は5年連続。チームのファンクラブ「クラブハピネッツ」の年会費の一部が充てられています。

ご寄付ありがとうございます。チームの躍進と発展を祈念しています。





平成30年度(公財)秋田県体育協会 賛助会員

～ご協力ありがとうございます～

県体育協会の賛助会員として、事業推進にご協力をいただいております皆様の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

【法人会員】

秋田いすゞ自動車株式会社	羽後電設工業株式会社	東亜道路工業株式会社秋田営業所
秋田運送株式会社	株式会社エフエム秋田	東北環境管理株式会社
株式会社秋田温泉さとみ	奥羽電気設備株式会社	株式会社東北ビルカンリ・システムズ
秋田空港ターミナルビル株式会社	株式会社鹿角パークホテル	中田建設株式会社
株式会社秋田ケーブルテレビ	医療法人久幸会	ニプロ株式会社大館工場
一般社団法人秋田県建設業協会	株式会社光風舎	日本精機株式会社
一般社団法人秋田県サッカー協会	株式会社光輪技研	日本電機興業株式会社
一般社団法人秋田県歯科医師会	コクヨ東北販売株式会社秋田支店	ネッツトヨタ秋田株式会社
秋田県信用保証協会	コマツ秋田株式会社	株式会社八郎瀧印刷
秋田県ステーションビル株式会社	有限会社佐々木製作所	船川臨港運送株式会社
公益社団法人秋田県バス協会	株式会社サノ・ファーマシー	文化シャッター秋田販売株式会社
秋田県バドミントン協会	猿田興業株式会社	堀江建材株式会社
秋田県武術太極拳連盟	白神森林組合	株式会社本間
一般社団法人秋田県薬剤師会	社会医療法人青嵐会	株式会社丸臣高久建設
秋田魁会	全国農業協同組合連合会秋田県本部	名鉄観光サービス株式会社秋田支店
秋田指月株式会社	創和技術株式会社	社会医療法人明和会
秋田白玉工業株式会社	株式会社大同観光	株式会社ユアテック秋田支社
秋田信用金庫	大堂電機自動車工業株式会社	株式会社友愛ビルサービス
秋田テレビ株式会社	太平山観光開発株式会社	有限会社雄駿
秋田ホーチキ株式会社	タプロス株式会社	由利工業株式会社
有限会社アリエル	千代田興業株式会社	臨海砕石株式会社
伊藤建設工業株式会社	辻不動産株式会社	株式会社ルーラル大湯

【個人会員】

秋元昌貴	熊谷金次郎	福原幸成
安藤進	佐々木岩男	細谷孝二郎
池田正	佐藤卯兵衛	米塚善之助
伊藤彊	佐藤有一	若狭良博
上野満	杉江宗祐	渡部聡
伊勢準造	田原隆雄	渡邊剛
尾形隆	中村六郎	渡辺正典
加藤時子	奈良正人	茂木秀悦
金子良雄	西村悦子	
川村豊太	半田祐毅	

※五十音順(敬称略)
9月11日受付まで



秋田県体育協会へのご寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を展開する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。

公益財団法人への寄付は、教育又は科学の振興など公益の増進に著しく寄与できるものとして、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）などの特例対象となります。

スポーツ立県を支え、実現していくために、多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

寄付申込みをいただいた法人・団体、個人を御紹介します。（敬称は略させていただきます。）

【法人・団体】

株式会社アイネックス	株式会社カガ三	中田建設株式会社
NPO秋田RG愛好会	有限会社金子建設工業	日本キャタピラー合同会社
秋田いすゞ自動車株式会社	株式会社寒風	一般社団法人日本建設機械レンタル協会
秋田活版印刷株式会社	株式会社北日本ベストサポート	有限会社ぬまくら
株式会社秋田キャッスルホテル	医療法人久幸会	長谷川体育施設株式会社秋田営業所
秋田共立株式会社	医療法人圭山会山王整形外科医院	株式会社長谷駒組
株式会社秋田銀行	医療法人敬徳会 藤原記念病院	花岡土建株式会社
株式会社秋田グランドリース	有限会社小西タイヤ	東日本コベルコ建機株式会社秋田営業所
株式会社秋田ケーブルテレビ	コマツ秋田株式会社	株式会社藤通商
秋田県剣道連盟	株式会社サキガケ・アド・ブレーション	株式会社フジモト
秋田県厚生農業協同組合連合会	株式会社さきがけ折込センター	有限会社ぶんねん自動車
秋田県自動車販売店協会	株式会社さきがけプラスA	ベストトラベル大曲営業所
秋田県信用組合	株式会社サノ・ホールディングス	有限会社ベストモータース
株式会社秋田国際カード	有限会社三協商事	株式会社北都銀行
株式会社秋田魁新報印刷	株式会社サンコーホーム	堀江建材株式会社
株式会社秋田ジェーシービーカード	医療法人社団柔心会	有限会社前田商店
秋田車体株式会社	株式会社菅与組	有限会社松村鉄工
秋田信用金庫	医療法人正和会	有限会社丸ノ内サービス
秋田ゼロックス株式会社	株式会社セコー	みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
株式会社秋田中央機工	全国共済農業協同組合連合会秋田県本部	むつみ建設株式会社
株式会社秋田椿台ゴルフクラブ	タプロス株式会社	有限会社村田弘建築設計事務所
株式会社秋田デンカ	辻兵商事株式会社	医療法人祐愛会 加藤病院
株式会社秋田放送	株式会社テーエムシー	ユーアイ警備保障株式会社
あきた保険工房	東京美装興業株式会社鹿角事業所	ユナイテッド計画株式会社
秋田瀝青建設株式会社	有限会社東立	ロイヤルモーター株式会社
株式会社アテック	DOWA ホールディングス株式会社	鹿前運輸株式会社
株式会社石川組	株式会社トヨタレンタリース秋田	

【個人】

小林 忠 雄

齊 藤 千 明

山 内 輝 誠

※五十音順（敬称略）

9月11日受付まで



県体協事務局だより

会議録(抄)

3月29日 臨時評議員会

- ・平成30年度事業計画(案)について
- ・平成30年度収支予算(案)について

4月23日 加盟団体事務局長会議

- ・平成30年度事業計画について
- ・加盟団体の提出書類等について
- ・スポーツ安全保険について
- ・第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会について
- ・アスリートの就職支援について
- ・平成30年度スポーツ指導者養成講習会等について
- ・チャレンジデー2018について
- ・第28回日・韓・中ジュニア交流競技会について
- ・「スポーツ推進方策2018」について
- ・「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」について

5月24日 オリンピックパラリンピック候補選手支援募金 支援対象者選定委員会

- ・交付金額の決定について

5月30日 第1回強化委員会

- ・第3期秋田県高等学校強化拠点校の指定について
- ・秋田県高等学校強化拠点校監督会議について
- ・調査分析・激励訪問について
- ・東北総体・福井国体・冬季国体の本部役員派遣について
- ・ターゲット競技調査・分析事業について

6月6日 第1回評議員選定委員会

6月7日 第1回審査委員会

- ・秋田県スポーツ表彰規程第8条に係る内規の作成等について
- ・(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰について

6月7日 第1回定例理事会

- ・平成29年度事業報告及び決算報告(案)について
- ・顧問の推挙について
- ・定時評議員会の招集について
- ・特別寄付金の受領について

6月19日 役員等推薦委員会

6月27日 定時評議員会

- ・平成29年度事業報告及び決算報告(案)について
- ・理事の選任について

6月27日 第1回臨時理事会

- ・評議員選定委員会の委員の選任について

7月5日 第1回スポーツ医・科学委員会

- ・平成30年度事業計画及び活動計画
- ・国民体育大会帯同ドクターについて
- ・アンチ・ドーピング教育・啓発事業について

7月24日 第2回強化委員会

- ・ターゲット調査分析事業について
- ・秋田県高等学校強化拠点校の全県高校総体結果について
- ・東北総合体育大会の結果について
- ・東北総体・国体前競技団体激励について
- ・東北総体・福井国体・冬季国体の本部役員派遣について

9月4日 第3回強化委員会

- ・東北総体の総括
- ・国体前の激励計画について

9月4日 第2回定例理事会

- ・国体秋田県選手団本部役員(案)について

平成30年度(公財)秋田県体育協会役職員紹介

■常勤理事

専務理事 齊藤 謙

■事務局

事務局長 佐藤 重満

■総務課

TEL018-864-8090

課長 山内 輝誠
 査員 森田 佳子
 職員 富田由紀子
 職員 佐藤 隆子

■スポーツ少年団室

TEL018-866-3916

(兼)室長 佐藤 重満
 職員 富樫 恵子
 職員 二階堂直子

■事業課

課長 高久 育宏

・競技スポーツ担当

TEL018-864-8091

強化専門員 杉渕 茂利
 強化専門員 安田 竜
 強化専門員 山崎 光
 職員 村井 耀太

・生涯スポーツ担当

TEL018-864-8094

課長代理 久米 克弥
 職員 清沢 広行
 職員 斎藤 篤子
 職員 大庭美保子
 アスリート就職推進アドバイザー
 佐々木 功

■ジュニア育成アドバイザー

松本 宗也
大貫 葉子

■テクニカルアドバイザー

安保 建吾 (陸上競技)
 金子 未里 (スキー)
 佐藤 太一 (スキー)
 三浦 隆司 (ボクシング)
 七尾 真結 (新体操)
 成田 竜也 (レスリング)
 佐藤 亮哉 (ウエイトリフティング)
 腰山 浩汰 (ウエイトリフティング)
 松岡 慧 (フェンシング)
 花岡 伸明 (ラグビーフットボール)
 佐々木 優 (カヌー)

平成30年度 関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠におめでとうございます。
今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

秋田県柔道連盟創立70周年記念式典

4月8日

秋田キャッスルホテル

編集 後記

本誌は、「福井しあわせ元気国体」主会期前の編集を経ての発行となりますので、国体における本県選手団の活躍の様子については、次号で掲載させていただきます。本誌の発行にあたり、ご多用中の折、取材や原稿執筆などにご協力くださいました皆様、写真を提供していただきました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。

(佐藤事務局長)

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C.

三本コーヒー株式会社
秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018 (865) 5461 FAX 018 (888) 1721

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766 駄菓子のしもむら 検索

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

株式会湯沢生コン
地域の発展とともに
松田グループ 株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エイコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一
税理士 横 山 富 夫

本 店 / 秋田市南通亀の町 4 番 9 号 Tel.018-833-4022
横山会計 / 秋田市川尻若葉町 4 番 37 号 Tel.018-862-6388



美人を育てる秋田米



粒が大きく、あきたこまちと比べてややすっきりとした味で、旨みとコクと甘みを感じられます。

香りが良く、光沢と適度な粘りがあり、味に厚みとコクがあります。

農家が手間暇をかけてつくった環境にやさしいお米です。



「あきたecoらいす」とは

秋田県が示している一般的な栽培方法より、使用農薬成分回数を半以下に抑えて栽培されたお米です。

JAグループ秋田・JA全農あきた



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター アリナス

スポーツ 合宿 研修 ... に

アリーナ 宿 泊 室
トレーニングルーム ス ト ラ
温水プール 温 泉 浴 場
研修室 (サウナ有)
ミーティングルーム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台 2 番地 1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/
/kouryuu/arinasu/list.html



仲間と一緒に
楽しく

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険[®]



4名以上の団体・グループで
ご加入ください。



傷害保険



賠償責任保険



突然死葬祭費用保険

対象となる事故

団体での活動中の事故／往復中の事故

保険期間

平成30年4月1日午前0時から平成31年3月31日午後12時まで(申込受付は平成30年3月から)

掛金

掛金(1人年額800円~1,850円)は、活動内容・年齢によってご選択いただく加入区分ごとに異なります。ただし、危険度の高いスポーツを補償するD区分は11,000円

補償内容

補償内容は、加入区分によって異なります。詳しくは、ホームページなどをご覧ください。



公益財団法人 **スポーツ安全協会** 秋田県支部

(公財) 秋田県体育協会内)

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5

秋田県スポーツ科学センター内

TEL **018-883-0360**

電話受付時間 午前8時30分~午後5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社

担当課:公務第2部 文教公務室

TEL **03-3515-4346** (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成30年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災

損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動

日新火災 三井住友海上 AIG損保

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

平成29年12月作成 17-TC00823